

各位

2018年10月25日  
大原薬品工業株式会社

## 日本医療研究開発機構が実施する医療研究開発革新基盤創成事業の 実用化開発タイプに採択

大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原 誠司、以下、「当社」）は、このたび、B型及びC型肝炎ウイルスに起因する肝硬変を対象とするOP-724の実用化計画が、本年10月16日、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下、「AMED」)が公募していた平成30年度「医療研究開発革新基盤創成事業(以下、「CiCLE」)」(第3回)の一般型実用化開発タイプに採択されましたのでお知らせいたします。

AMEDが実施するCiCLEは、産学官連携によって、我が国の力を結集し、医療現場のニーズに的確に対応する研究開発の実施、創薬等の実用化の加速化等が抜本的に革新される基盤(人材を含む)の形成、及び医療研究開発分野でのオープンイノベーション・ベンチャー育成が強力に促進される環境の創出、を推進することを目的とした事業です。

採択された実用化開発タイプの概要は以下の通りです。

- ・ 研究開発課題：肝硬変の生命予後を改善する革新的抗線維化薬の研究開発
- ・ 代表機関：大原薬品工業株式会社

AMEDのCiCLE課題採択に関するページ：

[https://www.amed.go.jp/koubo/07/01/0701C\\_00001.html](https://www.amed.go.jp/koubo/07/01/0701C_00001.html)

当社は、このたびのCiCLE課題採択を機に、一日も早くOP-724を肝硬変に苦しむ患者さまにお届けできるよう、開発を進めて参ります。

## 【OP-724 について】

OP-724 は、株式会社 PRISM BioLab が創製した化合物（同社開発コード：PRI-724）で、Wnt/ $\beta$ -カテニンシグナル伝達系の活性化を抑制する CBP/ $\beta$ -カテニン阻害薬です。元来、がんの治療薬として開発が進められていましたが、東京都医学総合研究所において、独自に開発した肝硬変モデルマウスを用い、OP-724 が肝組織像を改善するなど抗線維化作用を有することが確認されました。この研究成果に基づき、国内では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 医療分野研究成果展開事業産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-M) の支援を受け、東京都立駒込病院において肝硬変の患者さまを対象とした医師主導での第 I 相臨床試験が終了しています。現在は、AMED 橋渡し研究戦略的推進プログラムシーズ C として九州大学拠点の開発支援を受け、東京都立駒込病院を中心とした医師主導治験を実施中です。当社は、本年 5 月 24 日に、株式会社 PRISM BioLab から OP-724 を導入し、同社が進めてきた開発を引継ぎました。今後、多くの医療機関の協力を得ながら、B 型および C 型肝炎ウイルスに起因する肝硬変を対象に、OP-724 の開発を一層推進して早期の製造販売承認取得を目指しています。

### ◆本件に対するお問い合わせ先◆

大原薬品工業株式会社

担当：早川（はやかわ）、井用（いよう）

Tel : 03-6740-7701 FAX: 03-6740-7702